アウトソーシング(労働者派遣)に係る業務依頼内容等について

時間帯	業務内容	参考
8:30 ~	 県内外出荷計画に係るメール送受信、 電話受理(県内外出荷計画表の受領等) ※出荷調整に係る関係機関との連絡調整 ② 県内出荷計画表の作成 	マニュアル1 P3~ マニュアル3 P2~
10:00	 ※ ①、②の繰り返し(随時対応が必要) ③ 牛肉モニタリング検査結果公表 (県内、県外と畜分) ※ 公表に係る関係機関との連絡調整 	マニュアル1 P17~ マニュアル2 P1~
	 県内外出荷計画に係るメール送受信、 電話受理(県内外出荷計画表の受領等) ※出荷調整に係る関係機関との連絡調整 	マニュアル1 P3~ マニュアル3 P2~
10:00 ~	 県内出荷計画表の作成 小川の一部の繰り返し(随時対応が必要) 	マニュアル1 P4~ マニュアル3 P1~
12:00	 ④ 牛肉モニタリング検査結果公表 (県内、県外と畜分) (検査検体数が多い場合は結果判明に時間を要するため、完了時間が前後する) ※ 公表に係る関係機関との連絡調整 	マニュアル1 P17~ マニュアル2 P1~
13:00 ~	 県内外出荷計画に係るメール送受信、 電話受理(県内外出荷計画表の受領等) ※ 出荷調整に係る関係機関との連絡調整 	マニュアル1 P3~ マニュアル3 P2~
15:00	 ② 県外出荷計画表の作成 ※ ①、②の繰り返し(随時対応が必要) 	マニュアル3 P1~
	 県内外出荷計画に係るメール送受信、 電話受理(県内外出荷計画表の受領等) ※出荷調整に係る関係機関との連絡調整 	マニュアル1 P3~ マニュアル3 P2~
15:00 ~ $17:15$	 ② 県外出荷計画表の作成 ※ ①、②の繰り返し(随時対応が必要) 	マニュアル3 P1~
11.10	 ② 県外出荷計画表の送付(FAX 及びメール) (各と畜場及び検査機関等へ送付する。) ※ 出荷調整に係る関係機関との連絡調整 	マニュアル3 P12~

※時間帯については、目安であるため随時対応が必要となる。

マニュアル1

県内出荷計画書作成に係る事務処理について

1 状況、前提

(1) 概要

平成23年8月以降、㈱福島県食肉流通センター(以下、「流通センター」という)に搬入された牛については、その全頭の放射性物質検査(以下、「検査」とい

う)が実施されている。

令和2年4月以降、自主検査を実施していた 33 都道府県は一斉に検査を終了 したが、福島県は一部抽出検査(肥育牛は全戸検査(全農家年間1頭以上検査)、 老齢牛は全頭検査)体制を敷いており、全国のと畜場は福島県の検査体制に準じ、 検査の実施に協力をしてくれている。

そんな中、流通センターは作業の煩雑化を懸念し、令和2年4月以降も搬入さ れた全ての牛を検査する体制を継続したい意向を示しており、福島県としてもそ の意向に沿うよう検査を実施している。

令和4年5月に再度、流通センターと一部抽出検査体制への移行の打合せを実施したところ、了承を得たため、令和4年6月より全国のと畜場と同様、一部抽 出検査体制となった。

(2)検査の流れ

- ① 流通センターへ牛が搬入、流通センター職員が検査検体を採取
- ② 流通センター職員は、福島県農業総合センター(以下、「センター」という) へ検体を搬入し、センター職員が検査を実施する。
- ③ 検査が完了したら、センター職員は環境保全農業課の担当職員にメールで検 査結果を送付し、環境保全農業課担当職員は畜産課担当職員に結果をメール及 び書面で提出する。
- ④ 畜産課職員は、所定の流れで公表等を実施する(以下参照)。

(3)流通センターへの主な出荷団体

主な出荷団体は以下のとおり。

- ア 全国農業協同組合連合会福島県本部
- イ (株)ビーフふくしま
- ウ 矢吹サービス
- エ 全国畜産農業協同組合連合会東北支所
- オ ㈱福島県食肉流通センター

(4) 搬入日、と畜日、検査日、放射性物質検査実施日

これらは曜日ごとに決められており、パターンは以下のとおり。

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤
日曜日	と畜場へ牛搬入				
月曜日	<u>パターン③~⑤</u> <u>結果公表</u> と畜	と畜場へ牛搬入			
火曜日	検体持ち込み 検査実施	と畜	と畜場へ牛搬入		
水曜日	結果判明 <u>パターン①結果公表</u>	検体持ち込み 検査実施	と畜	と畜場へ牛搬入	
木曜日		結果判明 <u>パターン②結果公表</u>	検体持ち込み 検査実施	と畜	と畜場へ牛搬入
金曜日			結果判明(午前中)	検体持ち込み 検査実施 結果判明(お昼頃)	と 検体持ち込み (お昼頃) 検査実施 結果判明(夕方)

2 処理手続き

(1) 出荷団体からの県内出荷計画表の受領・確認

メール及びファックス等で、各出荷団体より県内出荷計画表を受領する。

※ メールにて受領した県内出荷計画表については、出荷団体ごとに以下のフ ォルダへ保存する。

フォルダ: 肉畜 → 【肉用牛出荷支援 DB】

→ ★★★★★出荷調整★★★★★→ 県内出荷

→ 受けた計画書

- ※ 病畜牛(怪我等により、急いで出荷する必要がある牛)についてはほぼ全 農が取り扱っており、病畜牛の出荷にあたっては全農担当者から<u>当課に「病</u> <u>畜出荷申請書」がファックスで届く</u>ため、当該農家における立入調査実施日 及び病畜牛の移動履歴を確認し、出荷の可否を全農担当者に連絡する。
- ※ 以下をすべて満たす場合は、と畜場への出荷が可能と判断する。なお、<u>以</u> 下以外の場合は担当ラインで協議の上、判断する。
 - 「最新立入調査日」の確認
 - 病畜牛を飼養する農家に対し、と畜予定日の直近1年以内に立入調査 が実施されていること(確認方法については、「マニュアル3「県外出荷 計画書作成に係る事務処理について」」のP3を参照のこと)。
 - ② 病畜牛の移動履歴の確認(以下のいずれかに該当する場合)
 - 病畜牛を飼養する農家で、病畜牛が6ヶ月間以上飼養されていること
 (確認方法については、本マニュアルP8~9を参照のこと)。
 - 病畜牛が、現在病畜牛を飼養する農家を含め「適切な飼養管理が確認 されている農家(=直近1年以内に立入調査が実施されている農家)」で 連続して6ヶ間月以上飼養されていること。



受領した県内出荷計画表の保存場所

(2) 郡山出荷台帳の作成

受けた県内出荷計画表に基づき、「郡山出荷台帳」に必要事項を転記する。

郡山出荷台帳に農家名及び市町村名を入力すると、最終立入調査日(飼養状況確 認調査日)がと全戸調査日が郡山出荷台帳の右方に出力される。

この最終立入調査日が、と畜日から1年以内に実施されていない場合は、立入 調査の実施を管轄農林若しくは家保に依頼する【別紙1参照】。

なお、郡山出荷台帳の原本は以下のフォルダに保存されている。

★フォルダ: 肉畜 → 【肉用牛出荷支援 DB】 → 郡山出荷台帳

→ 「_出荷台帳入力フォーム【県内_Ver9】」

★データ名:(と畜年月日)+_出荷台帳入力フォーム【県内_Ver9】

【例】2020年4月1日と畜の場合

→「200401_出荷台帳入力フォーム【県内_Ver9】」

- ※ 郡山出荷台帳内の着色されたセルは数式が入力されているため、入力は不要。 このセルが自動計算されない場合、生産者名や市町村名等に誤りがあるため、 再確認する。
- ※ 病畜牛の場合は、右方「備考」欄に「病畜」と記載する。

	Excel 郡山出荷台帳原本の場所											
畜産←必要なデー	タを先に移動 > 肉畜 > 【肉用牛出荷支援DB】 > 郡」	山出荷台帳	~ ひ 郡山出荷台帳									
	名前 ~	更新日時	種類									
	🣕 2015出荷台帳	2019/10/08 9:07	ファイル フォルダー									
	📙 2015枠調整連絡	2015/09/16 8:58	ファイル フォルダー									
	🣕 2016出荷台帳	2019/10/08 9:07	ファイル フォルダー									
	🣕 2017出荷台帳	2019/10/08 9:08	ファイル フォルダー									
	🣕 2018出荷台帳	2019/10/08 9:07	ファイル フォルダー									
	🣕 2019出荷台帳	2020/03/31 17:05	ファイル フォルダー									
	🣕 2020出荷台帳	2020/12/02 18:26	ファイル フォルダー									
	📙 Access欠損データ	2019/10/08 9:08	ファイル フォルダー									
	📙 旧入力フォーム	2020/03/30 13:28	ファイル フォルダー									
	📕 新しいフォルダー	2020/07/02 20:50	ファイル フォルダー									
	🔊 _出荷台帳入力フォーム【県内_Ver8セリ用45頭】	2019/10/23 15:26	Microsoft Excel 97									
a	■ _出荷台帳入力フォーム【県内_Ver9】	2020/10/20 17:55	Microsoft Excel 97									
<i>y</i>	図 201201_出荷台帳入力フォーム【県内_	2020/12/03 15:02	Microsoft Excel 97									
	図 201202 出荷台帳入力フォーム【県内_Ver	2020/12/04 11:15	Microsoft Excel 97									
		<u> </u>	_									

Excel 郡山出荷台帳の原本

5 / 30



ここの「最新立入調査日」を確認し、一年以内に当該調査が実施されていない場合は、管轄農林等へ依頼し、至急当該調査を実施すること。
 ※ と畜場へ搬入するための要件の1つに、「直近1年以内に飼養状況確認調査が実施され、適正な飼養管理が確認されていること」とあるため。

(3) 生産者の出荷履歴の確認

出荷しようとする生産者にこれまで出荷履歴がない場合は、<u>飼養牛の血液の放</u> <u>射性物質検査が必要</u>となり、この血液検査結果が「検出せず」の場合のみ、出荷 が可能となる(成牛セリへの上場履歴があれば、血液検査は不要となる)。

出荷履歴の確認方法は、Accessの「管理メニュー」→「個人データ(全戸検 査済確認書印刷(個別))」の下部に記載のある「県内出荷データ」~「成牛セリ出 荷データ」で確認する。

なお、血液検査に係る概要や実施手順は別に示す。

また、(2)で前述のとおり、当該生産者に対しての最終立入調査日がと畜日か ら1年以内に実施されていない場合は、立入調査の実施を管轄農林等に依頼する。



(4)郡山出荷台帳の印刷

作成した Excel 郡山出荷台帳の「印刷」タブを開き、1部印刷をする。

Excel 郡山出荷台帳の印刷方法	
Excel ページレイアウト 数式 データ 校閲 郡山出荷 MS Pゴシック 11 A Ă	
 ● JC ● B I U • □ · △ • ▲ • ▲ ケリップボード □ フォント □ 	
- × ✓ f 検出せず(<8.3)	
593 40324 1 全農補給県本創 大玉社 .	
593 40325 2 全晨福岛県本創 大玉社 /	
593 40325 3 全農福島県本創 大玉社 /	
693 40327 4 全農福島県本創 大玉社 .	
5933 40328 5 全農福島県本創 大玉社 -	
893 40329 6 全農福島県本創 大玉社 .	
593 40330 7 全農福島県本創 天業社 1000 XMP	
593 40331 8 全農稿寫県本創 天栄村	
593 40332 9 全農補給県本創 天栄村	
593 40333 10 全農補給県本創 天業社	
593 40334 11 全展福岛県本創 天栄社	
593 40335 12 全農補給県本創 天業社	
13	
14	
15 15	
15 15	
17	
18 18	
18	
	ック俊、
22 E	印刷!
出荷計画入力フォーム【県内】 農家番号 印刷	

(5) 出荷牛の移動履歴等の確認

郡山出荷台帳に入力した個体識別番号をコピーし、家畜改良センターホームペ ージでの「牛の個体識別情報検索サービス」にペースト、その牛の履歴を確認し、 直近の移動履歴を印刷した郡山出荷台帳の右方へ転記しておく。

※ 転記ミス等が発生しないよう、<u>必ず郡山出荷台帳からのコピー&ペーストに</u> より牛の移動履歴を確認すること。





- ※ 前飼養者から当該農家に移動して6ヶ月以内であり、かつ前飼養者が1年以内に立入調査を受けていない場合は、前飼養者に対して立入調査を実施し、適切な飼養管理が確認され、前飼養者と当該農家で飼養されていた期間が6ヶ月間以上となれば、出荷が可能となる。
- ※ 判断に迷う場合、ライン内で相談等の上で対応し、決して独断で決定しない こと。

9 / 30

(6) サンプリングリスト及びと畜リストの作成、印刷、ダブルチェック

と畜当日、福島県食肉流通センターから「と畜検査申請書(病畜切迫)」がファ ックスにて畜産課に届くため、この申請書に基づき、「サンプリングリスト」及び 「と畜リスト」を作成し、印刷をする。

作成後、その内容について肉用牛家畜ラインでダブルチェックを実施する。 なお、この申請書を以て、と畜される牛が決定する。

ア サンプリングリストの作成

- 以下のフォルダに保存されているサンプリングリストを作成する。なお入 力は、データ下部の「試料情報入力シート」タブにする。
 - 入力事項:市町村名、試料採取日(=検体持ち込み日)、公表予定日、リスト作成年月日、リスト作成時間、持ち込み予定日(=試料採取日)、サンプル No.、試料番号
 - フォルダ: 肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】
 - →_㈱福島県食肉流通センター送付分
 - →「【_持込】 共通サンプリングリスト_V1.027 【畜産課_牛肉】」
 - データ名:【(検体持ち込み日)_持込】共通サンプリングリスト_V1.027【畜 産課_牛肉】
 - 【データ名例】検体持ち込みが4月2日である場合
 - →【200402_持込】共通サンプリングリスト_V1.027【畜産課_牛肉】 ※ 木曜、金曜と畜の場合、どちらも金曜に検体が持ち込まれるため、サ
 - ンプリングリストのデータ名は「200402_01」、「200402_02」を頭に付け、 判別する。

サンプリングリスト	~原本の場所								
0D-CHIKUSAN > share > DATA > 畜産ー必要なデータを先に移動 > 肉畜 > 【肉用牛出荷支援DB】 > _㈱福島県食肉流通センター送付分									
名前 ^	更新日時	種類	サイズ						
▶ ●モニタリング外検査(センターへ依頼)	2020/12/07 18:28	ファイル フォルダー							
📙 old(様式)	2019/10/08 9:32	ファイル フォルダー							
▶ と畜予定表	2020/11/25 16:37	ファイル フォルダー							
▶ 平成	2020/05/01 11:19	ファイル フォルダー							
▶ 令和	2020/05/01 11:19	ファイル フォルダー							
🕼 (訂正版)【201113_01持込】共通サンプリングリスト_V1.027【畜産課_牛肉】	2020/11/12 13:38	Microsoft Excel マ	952 KB						
國 (訂正版)201112_と畜	2020/11/12 13:37	Microsoft Excel 97	37 KB						
1 _と畜	2020/09/25 11:13	Microsoft Excel 97	27 KB						
図書 【】 共通サンプリングリスト_V1.028	2020/09/18 10:52	Microsoft Excel マ	941 KB						
図 【201201 持込】共通サンプリングリン 927【畜産課 牛肉】	2020/11/30 10:56	Microsoft Excel ₹	941 KB						

サンプリングリストの原本

11 / 30



② 作成したサンプリングリストは、データ下部の「オフサイト送付用共通サンプリングリスト」タブより2部印刷し、肉畜ラインでダブルチェック後、1部は環境保全農業課の担当へ提出、もう1部は畜産課で保管(放射性物質検査結果公表の際、ダブルチェック用等で利用する)する。



③ サンプリングリストのデータは、次項「イ」で作成すると畜リストとともに、 流通センター担当者へメールで送付する。

また、サンプリングリストのデータのみ、センター分析課の担当者へメール で送付する。

サンプリングリストの送付先

LS220D-CHIKUSAN > share > DATA	> 畜産←必要なデータを先に移動 > 肉青	畜 >【肉用牛出荷支援	覺DB】 > _㈱福島県食肉	流通センター送付分
名前	^	更新日時	種類	サイズ
●モータリング外検査(センターへ	依頓)	2020/12/07 18:28	ファイル フォルダー	
□ old (様式)	14×05×7	2019/10/08 9:32	ファイル フォルダー	
と畜予定表		2020/11/25 16:37	ファイル フォルダー	
■ 平成		2020/05/01 11:19	ファイル フォルダー	
▲ 令和		2020/05/01 11:19	ファイル フォルダー	
🔄 (訂正版)【201113_01持込】共通	サンプリングリスト_V1.027【畜産課_牛肉】	2020/11/12 13:38	Microsoft Excel マ	952 KB
国 (訂正版)201112_と畜		2020/11/12 13:37	Microsoft Excel 97	37 KB
■ _と畜		2020/09/25 11:13	Microsoft Excel 97	27 KB
☆ 【】 共通サンプリングリスト V1.028		2020/09/18 10:52	Microsoft Excel √	941 KB
	リスト_V1.027【畜産課_牛肉】	2020/11/30 10:56	Microsoft Excel マ	941 KB
🏹 【201202_持込】共通サンプリング	リスト_V1.027【畜産課_午肉】	2020/12/01 11:31	Microsof el 국	946 KB
【201202 特込】共通サンプリング	リスト_V1.027【畜産課_牛肉】	2020/12/02 10:59	Microsof el マ	940 KB
流通センター担当者	へ、 <u>と畜リストとも</u> に逆	送付		
メール:	co. Jb			
	センタ		4者へ送付	
	メール:			lg.jp

- イ と畜リストの作成
 - ① 以下のフォルダに保存されていると畜リストを作成する。
 - 入力事項:事前に作成してある郡山出荷台帳の<u>「農家 ID」~「放射性物</u> <u>質モニタリング日」</u>をコピーし、と畜リストの所定箇所にペ ーストする。
 - フォルダ: 肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→_㈱福島県食肉流通センター 送付分→「_と畜リスト」
 - データ名:(と畜日)_と畜リスト

【例】と畜が4月1日である場合 →「200401_と畜リスト」



15 / 30

			郡山	山出荷台帧	長た	らと畜リストへのコ	ピペ		
ここから							ここま	でコ	ピーする!
農家ID	出荷N	0. 💌	出荷口ット	出荷団体1、		搬入日 👻	と畜	8 🖵	放射性物質モニタリング目、
2090-2928	40	178	1	全農福島県本部	夢∂	山2年11月30日	令和2年13	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	179	2	全農福島県本部	夢み	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	180	3	全農福島県本部	夢み	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	181	4	全農福島県本部	夢∂	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	182	5	全農福島県本部	夢∂	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	183	6	全農福島県本部	夢₹	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	184	7	全農福島県本部	夢み	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	185	8	全農福島県本部	夢み	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2090-2928	40	186	9	全農福島県本部	夢み	四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2785-540	40	187	10	矢吹サービス		四年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2785-540	40	188	11	矢吹サービス		02年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2785-540	40	189	12	矢吹サービス		四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2785-540	40	190	13	矢吹サービス		四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
2785-540	40	191	14	矢吹サービス		四2年11月30日	令和2年1:	2月01日	令和2年12月03日
Evec		192	15	矢吹サービス			L	月01日	令和2年12月03日
		193	16	矢吹サービス		Exc	el		令和2年12月03日
郡田田	何	194	17	矢吹サービス		郡山皆	出荷	月01日	令和2年12月03日
台帳画	面	195	18	矢吹サービス		台帳	画面	月01日	令和2年12月03日
							-		



② 作成したと畜リストは、前項「ア」で作成したサンプリングリストとともに、流通センター担当者へメールで送付する。

と畜リストの送付先												
畜産ー必要なデータを先に移動 > 肉畜 > 【肉用牛出荷支援DB】 > _	畜産ー必要なデータを先に移動 > 肉畜 > 【肉用牛出荷支援DB】> _㈱福島県食肉流通センタ−送付分 > ひ											
名前 ^ ^ ^	更新日時	種類	サイズ									
🕼 【201217_持込】共通サンプリングリスト V1.027【畜産課 牛肉】	2020/12/16 11:12	Microsoft Excel マ	942 KB									
[▲ 201201_と畜(検査結果)	2020/12/03 8:51	Microsoft Excel 97	R•×KB									
図 201201_と畜	2020/12/01 11:17	Microsoft Excel 97	37 KB									
図 201202_と畜(検査結果)	2020/12/04 9:03	Microsoft Excel 97	32 KB									
國 201202_と畜	2020/12/02 10:52	Microsoft Excel 97	31 KB									
図 201203_と畜(検査結果)	2020/12/04 13:59	Microsoft Excel 97	38 KB									
國 201203_と畜	2020/12/03 11:51	Microsoft Excel 97	36 KB									
図 201204_と畜(検査結果)	2020/12/04 19:20	Microsoft Excel 97	40 KB									
國 201204_と畜	2020/12/04 10:53	Microsoft Excel 97	37 KB									
流通センター担当者へ、 <u>サン</u> メール: C	<u>プリングリストと</u> o. jp	<u>- も</u> に送付										

(7)県内検査結果の公表手順(県外検査結果と共に公表)

ア検査結果の受領及び保存

検査結果については、センター分析課から環境保全農業課へ届き、その後に 環境保全農業課担当者から<u>畜産課代表メール宛てに送付される</u>。

その際、メールが送られた旨は環境保全農業課担当者から畜産課へ電話で連絡が来る。

メールで受けたデータは以下のフォルダに保存する(データ名は編集せず、 そのまま保存して OK)。

★ フォルダ:肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→環境保全農業課からの結果



イ 公表用資料の受領及び確認

県内と畜分の公表用資料の作成は環境保全農業課が実施する。

アの後、環境保全農業課から公表用資料(原本)が届くため、内容を確認す る。

確認の結果、その結果を環境保全農業課へ電話で伝達する。

なお、以下の点については誤りが多い。

【例】水曜、木曜、金曜に県内と畜がそれぞれある場合、それぞれの公表用資料の左上に「①4/1と畜分」「②4/2と畜分」「③4/3と畜分」と記載されるはずのものが、記載されていない。等

確認事項としては以下のとおり。

- 記載されている検査結果が、事前に当課へ送付されている検査結果と一 致しているか。
- 試料の市町村が、当課で作成したサンプリングリスト等と一致している か。
- 日付が合致しているか。

箺

※ 放射性物質が検出された場合は、すぐにラインや上席に報告する。 報告後、ラインの指示により、管轄農林への情報提供及び飼養状況確認 調査の実施を依頼する。

ウ 検査結果の郡山出荷台帳への貼り付け等

環境保全農業課からの検査結果のデータを開き、データ右方の「134Cs」 「137Cs」の結果箇所をコピーし、事前に作成した郡山出荷台帳の同様の場所 にペーストする。

郡山出荷台帳に貼り付けた検査結果の符号は「全角」となっているが、郡山 出荷台帳及び Access は「半角」で統一されているため、符号を半角へ修正す る。

貟	査結果データ	≣])					単位:Ba/kg	
la.	試料番号		名	試料名	武料	測定日	<u>γ</u> 線ス	ペクトロメトリー
				B>01-1-C	採取日		1340s	1370s
1	B-1 郡:		牛肉		02.12.01	02.12.01	検出せず(<8.3)	検出せす(<8.4)
2	B-2 相:		牛肉		02.12.01	02.12.01	検出せす(<6.6)	検出せす(<7.2)
3	B-3 18:	回巾 い <u>+</u>			02.12.01	02.12.01	検出せす(<8.2)	検出せす(<6.9)
4	D-4 70; D_5 30;	回中 5.1.士	<u>+ 内</u>		02.12.01	02.12.01	快山ビタ(<7.0) 検出サポ(<7.6)	 検山ビタ(へ0.9) 検出サポ(<i>と</i> 6.9)
0 6	しり R_6 吉	<u>山中</u> '玄古古			02.12.01	02.12.01	1尺山ヒッ(ヘ/.0) 拾出せず(/0の)	沢山ビタ(へ0.3) 拾出せず(/6.0)
7	B-7 E	<u>タルル</u> タカ市	<u>十内</u> 生肉		02.12.01	02.12.01	11え山ヒッ(へ0.0) 	
8	B-8 5	<u>シハル</u> 多方市	 生肉		02.12.01	02.12.01		
9	B-9 7	<u></u> 川町	牛肉		02.12.01	02.12.07	検出せず(<11)	<u>検出せず(<8.9)</u>
10	B-10	,,,,,,, ,), ⊞T	牛肉		02.12.01	101	検出せず(<7.5)	検出せず(<67)
11	B-11 7	<u>,,,,,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	牛肉		02.12	12.01	検出せず(<9.7)	
12	B-12 古		牛肉			$\overline{)}$	検出せず(<7.6)	
13	B-13 古	<u>殿</u> 町	牛肉		ナーピ	. 01	<u>検出せず(<8.7)</u>	
14	B-14 古	殿町	牛肉		をコピー	-! 1	検出せず(<7.6)	検出せず(<5.9)
	E ve			50.11.11.11.11.11			か <u>ウ/19</u> 4	but 11 27
	Exce 郡山と	el 出荷	≤畜日 💌	放射性物質	iモニタリング 車12月03日	ÿ E	セシウム134 👻	セシウム137 🖵
	Exce 郡山と 台帳回	el 日荷 画面	≤畜日 💌 年12月01日 年12月01日	放射性物質 令和2 ⁴ 令和2 ⁴	『モニタリング ≢12月03日 ≢12月03日	ÿ E	セシウム134 🔽	セシウム137 💽
	Exce 郡山と 台帳頭 年11月30日	el 出荷 画面	二畜日 ▼ 年12月01日 年12月01日 年12月01日	放射性物質 令和2年 令和2年 令和2年	iモニタリング 車12月03日 車12月03日 車12月03日	ÿ E	センウム134 👻	センウム137 🖵
	Exce 郡山と 台帳區 年11月30日 年11月30日	el 出荷 町面 1 令和2	2畜日 ▼ 年12月01日 年12月01日 2年12月01日 2年12月01日	放射性物質 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年	iモニタリング ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日		セシウム134 🗸	セシウム137 💽
	Exce 郡山と 台帳回 年11月30日 年11月30日	el 日荷 回面 令和2 令和2	 < 年12月01日 年12月01日 2年12月01日 2年12月01日 	放射性物質 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年	iモニタリング #12月03日 #12月03日 #12月03日 #12月03日 #12月03日	ÿ E	セシウム134 🔽	セシウム137 💽
	Exce 郡山と 台帳回 年11月30日 2年11月30日 2年11月30日	el 日荷 回面 令和2 令和2	二部日 年12月01日 年12月01日 年12月01日 2年12月01日 2年12月01日 2年12月01日	放射性物質 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年	 〒三タリング ■ 		セシウム134 -	セシウム137 💽
	Exce 郡山と 台帳回 年11月30日 2年11月30日 2年11月30日 2年11月30日	el 日荷 町面 日 令和2 日 令和2 日 令和2	 二 審日 年12月01日 年12月01日 2年12月01日 2年12月01日 2年12月01日 2年12月01日 2年12月01日 	放射性物質 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年	「モニタリング		セシウム134 -	セシウム137 💽
	Exce 郡山と 台帳區 2年11月30日 2年11月30日 2年11月30日 2年11月30日 2年11月30日	el 日 町 町 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	 二 二	放射性物質 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年 令和2年	tモニタリング ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日 ¥12月03日	ÿ E	セシウム134 -	センウム137 -

★全角から半角への修正方法:範囲を指定→「ctrl」+「H」で「置換」コマンドを出 す→「検索する文字列」に大文字、「置換後の文字列」 に小文字の符号を入れ、「すべて置換」をクリック。

エ 検査結果のと畜リストへの貼り付け

ウにより郡山出荷台帳への検査結果の貼り付けが完了したら、検査結果箇所 をコピーし、事前に作成している「と畜リスト」の右方の「セシウム 134」及 び「セシウム 137」のセルにペーストする。

検査結果をペーストしたと畜リストのデータ名は、<u>後部に「(検査結果)」を</u> <u>加え</u>、名前を付けて保存するとともに、流通センター担当者へメールでデータ を送付する。

		٤i	畜リストイ	への検査	結果の	コピペ	方法			
と畜	リスト	─────	搬入日	 と畜日	放射性物	ー の質モニタ	リング	し わり/13/	R 1 わいりん1 9	3 27 ≣+
	,,,,	県流通セン	ター R2.12.1	5 R2.12.16	ì	R2.12.18				
27	1470705624	県流通セン	·ター R2.12.1	5 R2.12.16	ì	R2.12.18				
24	08671 02909	県流通セン	ター R2.12.1	5 R2.12.16	ì	R2.12.18				
23	1572228953	県流通セン	'ター R2.12.1	5 R2.12.16	ì	R2.12.18				
29	1551583516	県流通セン	'9- R2.12.1	5 R2.12.16	ĵ	R2.12.18	_			
24	13/2/92/60	「県流通セン	'ダー R2.12.1	5 R2.12.16	j	R2.12.18				
80	13/042/091	県流通モノ	ター R2.12.1	5 R2.12.10)	R2.12.18	_			
44	1540211127	県流通セン	'ジー R2.12.1	5 RZ.12.10	2	RZ.12.18				
20	1536210130	「朱加畑ビノ」 「但流通セン	ッター R2.12.1	5 P21210	3	P21218				
20	1518503793	「泉流通セン」	ックー R2121	5 R21216	, ì	R21218				
51	1357966452	県流通セン	ター R2121	5 R21216	ì	R21218				
60	1351866260	県流通セン	ター R2.12.1	5 R2.12.16	ĵ	R2.12.1	\checkmark			
94	0840564397	県流通セン	·ター R2.12.1	5 R2.12.16	6	B2 18				
125	0836435762	県流通セン	·ター R2.12.1	5 R2.12.16	i /	.12.18				
58	1505225028	県流通セン	'ター R2			<u>18</u>				
91	1340269256	県流通セン	'ター R: _	っっにぺ-	ースト	.18				
	12.9 R2 112.9 R2	ドリスト 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10 12.10	EEE9U 2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11 R2.12.11	ング日 や 検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検検	134 ±] (<7.4) ±] (<6.6) ±] (<8.8) ±] (<8.2) ±] (<8.5) ±] (<7.9) ±	ど検検検検検検検検検検検検検検検検検検なとの、2000年の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11日の11	7 "(<6.3) "(<7.2) "(<7.7) "(<8.3) "(<6.5) "(<6.4) "(<6.5) "(<7.3) "(<8.4) "(<7.7) "(<8.8) "(<7.7) "(<8.8) "(<7.0) "(<7.1) "(<6.6) "(<6.6)	計検検検検検検検検検検検検検な出出出出出出出出出出出出出出出出出出出出出出出出		
-タを先し	に移動 > 肉間	畜 >【肉用	牛出荷支援D)B】 > _(株)褚	畐島県食肉	肉流通セン	/ター送(讨分	~ Ū	_(株)袑
友美		^		百轮口味		1 番 米西			サイブ	
	201202_と畜(ネ	検査結果)	Ţ	史初口时 2020/12/0	04 9:03	/重 ^決 見	osoft E	xcel 97	3	32 KB
×	201202_と畜			2020/12/0	02 10:52	Micr	osoft E	xcel 97	З	31 KB
X	201203_と畜(検査結果)					soft E	xcel 97	3	38 KB
×	201203_と畜			この名	前で保	行!	soft E	xcel 97	3	36 KB
X	201204_と畜(ネ	検査結果)		2020/12/0	04 19:20	Micr	osoft E	xcel 97	4	10 KB

オ 郡山出荷台帳へ「出荷 No.」及び「出荷ロット No.」の入力

Access の「管理メニュー」→「県内出荷台帳の入力」を開き、最下部に入力 されている「出荷 No.」を確認、<u>その出荷 No.の次の数字</u>を郡山出荷台帳の同 様の箇所に入力し、以降の牛については通し番号を入力する。

また、郡山出荷台帳の「出荷ロットNo.」については、<u>月曜~水曜と畜の場合は「1」</u>から、<u>木曜と畜の場合は「1001」</u>から、<u>金曜日と畜の場合は「2001」</u>から入力し、以降の牛には通し番号を入力する(金曜日は、水曜~金曜と畜分の検査結果を公表するため、いつのと畜分か判別するため)。



_									
1	農家ID →	出荷No	1	· · · · · · 	-				
	2803-1575	40354	1	ACCESS 画面					
	1385-1354	40355	1						
	1814-412	40356	1021	矢吹サービス					
	1814-412	40357	1022	矢吹サービス					
	2539-3324	40358	1023	矢吹サービス					
	1849-3402	40359	1024	全農福島県本部	夢る				
	2770-1451	40360	2001	全農福島県本部					
	2793-533	40361	2002	全農福島県本部					
	2793-533	40362	2003	全農福島県本部					
	2793-533	40363	2004	全農福島県本部					
	1289-777	40364	2005	全農福島県本部					
	1863-582	40365	2006	全農福島県本部					
	1855-3191	40366	2007	全農福島県本部					
	2081-2997	40367	2008	全農福島県本部					
	760-2376	40368	2009	全農福島県本部					
	1164-2577	40369	2010	全農福島県本部					
	3260-504	40370	2011	矢吹サービス					
	3260-504	40371	2012	矢吹サービス					
	2785-540	40372	2013	矢吹サービス					
	2663-557	40373	2014	矢吹サービス					
	2663-557	40374	2015	矢吹サービス					
	2663-557	40375	2016	矢吹サービス					
	3072-1440	40376	2017	矢吹サービス					
	1432-2509	40377	2018	矢吹サービス					
	2684-1087	40378	2019	矢吹サービス					
	2684-1087	40379	2020	矢吹サービ					
	1693-407	40380	2021	矢吹サービ	_ //		F	-	
	1425-952	40381	2022	矢吹サービ I	反伐	えの	一出位	す NO. 」	を催認!
	1425-952	40382	2023	矢吹サービ					
	3168-143	40383	1	県事協			~		
	3168-143	40384	2	県事協		/			
	3168-143	40385	3	県事協	97AT				
	1863-582	40386	4	県事	㈱				
	1863-582	40387	5 _	15 This	(耕				
	1863-592	40388		県事協	(耕				
	3190-144	40389	2	県事協	㈱				
s.					0.70				



				·			
農家ID	出荷No	出荷ロット! 🚽	出荷団体1-	JA名等 🚽	市町村 🖵	4 Excel	
2090-2928	40178		☑ 確認した	- アクヤスの最	,)	: 郡山出礼	岢
2090-2928	40179	2	後の「出	L荷 No. 」の次	t		面
2090-2928	40180	3	の番号を	を記載する!	t	-	黒毛
2090-2928	40181	4	全農福島県本部	夢みなみ	平田村		黒毛
2090-2928	40182	5	全農福島県本部	夢みなみ	平田村	; 福島太郎	黒毛
2090-2928	40183		r 以降は诵	Ⅰ.番号を入力	村		黒毛
2090-2928	40184	7	太戸10 <u>〜</u> する!		村		黒毛
2090-2928	40185	8	<u> </u>		村		黒毛
2090-2928	40186	9	全農福島県本部	夢みなみ	平田村	;	黒毛

曜日別の出荷ロット No. について

農家ID	出荷№. 🚽	出荷	コットN 🖕	出荷団体名,	JA名等	•	市町村
3236-633	40226		1 001	全農福島県本部	会津よつば		猪苗代町
3236-633	40227		1002	全農福島県本部	会津よつば		猪苗代町
3252-635	40228		1003	全農福島県本部	会津よつば		猪苗代町
3252-635	40229		1004	全農福島県本部	会津よつば		猪苗代町

と畜日が<u>木曜日</u>の場合の出荷ロット No.

農家ID	出荷No. 🚽	出荷	[•] □ット! –	出荷団体名,	JA名等	-	市町村
2492-598	40256		2001	全農福島県本部	美土里耕産		三春町
2492-598	40257		2002	全農福島県本部	美土里耕産		三春町
275-681	40258		2003	全農福島県本部	ふくしま未来		二本松市
134-671	40259		2004	全農福島県本部	ふくしま未来		二本松市
184-707	40260		2005	全農福島県本部	ふくしま未来		二本松市

と畜日が<u>金曜日</u>の場合の出荷ロット No.

カ 郡山出荷台帳データ(検査結果込み)を Access へ反映
 郡山出荷台帳の「農家 ID」~「備考」までをコピーし、Access の管理メニュ
 →「県内出荷台帳の入力」を開き、最下部まで移動する。
 最下部の左方にある「*」を右クリックし、ペーストする。



DI / 00



2	農家ID	Ŧ	出荷Na	$\neg \uparrow$	出花 🗸	出荷団体名	-	JA名等	Acces	s 画面
	3168-143		40383		1	県事協		(㈱ビーフぶし		
	3168-143		40384		2	県事協		(㈱ビーフふく	(しま	喜多方
	3168-143		40385		3	県事協		(㈱ビーフふく	(しま	喜多方
	1863-582		40386		4	県事協		(㈱ビーフふく	(しま	石川町
	1863-582		40387		5	県事協		㈱ビーフふく	しま	石川町
	1863-582		40388		6	県事協		㈱ビーフふく	(しま	石川町
	3190-144		40389		7	県事協		(㈱ビーフふく	(しま	喜多方
*										
	<u> </u>	~~								

ココを右クリック、貼り付け!

※ この際、<u>エラー等でコピーができない場合、「これまでの出荷の通し番号(郡山出</u> 荷台帳の「出荷 No.」)」等に誤りがあるおそれがあるため、再確認する。

キ 県内出荷台帳の印刷及び確認

Access の「県内出荷台帳の印刷」をクリックし、と畜日及びモニタリング日 を入力の上、「県内出荷台帳の印刷プレビュー」をクリックする。

表示された県内出荷台帳を印刷する(保存不要)。

出力された県内出荷台帳は、その内容についてサンプリングリストや、と畜 検査申請書(病畜切迫)等と照合し、記載内容(特に市町村!)に誤りが無い か確認する。

確認完了後、市町村数を記載しておく(○市▲町□村、計◎市町村)。



					JA名等	市町村	生産者名	畜種	性別	月齡	個体識別番号	と畜場名	セシウム134	セシウム137	÷+	備考
	県	习出 荷台	'帳(印原	训用)	㈱ビーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	25	1388341174	県流通センター	検出せず(<7.9)	検出せず(<5.8)	検出せず	
					㈱ビーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	24	1365843400	県流通センター	検出せず(<8.2)	検出せず(<7.9)	検出せず	
40294	3	令和2年12月07日	令和2年12月09日	県事協	(株ピーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	24	1581609736	県流通センター	検出せず(<6.5)	検出せず(<6.7)	検出せず	
40295	4	令和2年12月07日	令和2年12月09日	県事協	(株ピーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	24	0867729892	県流通センター	検出せず(<8.7)	検出せず(<6.6)	検出せず	
40296	5	令和2年12月07日	令和2年12月09日	県事協	俳ピーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	25	1508416379	県流通センター	検出せず(<9.0)	検出せず(<6.6)	検出せず	
40297	6	令和2年12月07日	令和2年12月09日	県事協	(株ビーフふくしま	大玉村	福島太郎	黒毛和種	去勢	25	1593651396	県流通センター	検出せず(<9.2)	検出せず(<6.8)	検出せず	
40298	7	令和2年12月07日	令和2年12月09日	県事協	(株ビーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	25	1592930652	県流通センター	検出せず(<8.9)	検出せず(<7.8)	検出せず	
40299	8	令和2年12月07日	令和2年12月09日	県事協	(株ビーフふくしま	大玉村		黒毛和種	去勢	25	1380290739	県流通センター	検出せず(<9.6)	検出せず(<8.9)	検出せず	
40300	9	令和2年12月07日	令和2年12月09日	食肉流通センター		猪苗代町		乳用種	去勢	24	1419485464	県流通センター	検出せず(<8.8)	検出せず(<6.0)	検出せず	
40301	10	令和2年12月07日	令和2年12月09日	食肉流通センター		猪苗代町	1	乳用種	去勢	23	1419485495	県流通センター	検出せず(<7.5)	検出せず(<5.7)	検出せず	
40302	11	令和2年12月07日	令和2年12月09日	食肉流通センター		猪苗代町		乳用種	去勢	23	1419485488	県流通センター	検出せず(<6.2)	検出せず(<5.5)	検出せず	





照合完了後、市、町、村ごとの数をカウントし、印刷した県内出荷台 帳の下部の空きスペースに記載しておく!<u>(〇市▲町□村、計◎市町村)</u> ↓ ~公表する際、対象となる市町村数を明記することとなるため!~ ク プレスリリース表紙の作成

これら牛肉の検査結果をプレスリリースする際の表紙は、以下のフォルダに 保存しているため、「プレスリリース年月日」「試料採取年月日」「県内と畜分 の検査点数」「県内と畜分の市町村数」「県外と畜分の年月日」「県外と畜分の 検査点数」を適宜修正し、1部印刷する。

★フォルダ:肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→★★★★★出荷調整★★★★★ →県外出荷(各年度)→■結果公表→00 プレス(各年度)



プレスリリース表紙の作成方法

ケ 県内と畜分検査結果送付用のファックス表紙の作成

県内と畜分の検査結果については、郡山市食肉衛生検査所及び流通センター には必ず送付するものとし、その他、そのと畜日にと畜された牛を出荷した出 荷団体へも送付することとしている。

さらに、該当する出荷団体を加え、ファックス表紙を作成する。

★フォルダ:肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→★★★★★出荷調整★★★★★ →県外出荷(各年度)→■結果公表→00プレス(各年度)



ファックス送信表の作成方法

コ 公表用資料一式等のダブルチェック実施

公表用資料一式(プレスリリース表紙、県内検査結果表、県外検査結果表) 及びファックス送信票の準備ができたら、確認資料である「県内出荷に係る出 荷団体からの出荷計画表」、「印刷した郡山出荷台帳」、「県内出荷台帳(Access か ら印刷したもの)」、「と畜検査申請書(病畜切迫)」、「サンプリングリスト」、「検 査結果」を添え、肉畜ライン内でダブルチェックを実施する。

サ 公表用資料の PDF 保存、印刷

ダブルチェックが完了後、公表用資料一式(プレスリリース表紙、県内検査 結果表、県外検査結果表)を PDF に保存し、以下のフォルダへ保存する。 ★フォルダ:畜産←必要なデータを先に移動

→モニタリング検査結果 (プレスリリース資料)

→02 牛肉→当該年度→当該月

公表用資料 PDF データ保存場所



また、保存後に両面印刷で2部印刷する。

★内訳

・環境保全農業課モニタリング担当:2部 (+プレスリリース表紙のみ1枚)

シ 各関係機関への検査結果の連絡

(ア)流通センターへの連絡 (メール)

<u>県外と畜分</u>の結果については、メールで流通センターへ送付する。

(イ)流通センター、郡山市食肉衛生検査所、当該出荷団体 <u>県内と畜分</u>の結果については、予め作成したファックス表紙を用いて送付 する。

- ス 公表用資料の配布について 下記のとおり、配布する。
 - 環境保全農業課:2部

マニュアル2

県外出荷に係る放射性物質検査結果の 公表資料作成について

1 概要

県外出荷、<u>放射性物質検査(以下、「検査」という。)が実施された個体については、</u> 検査機関より、定期的に検査結果が送付される。

送付方法はメールもしくはファックスで当課に届き、その結果を県外出荷台帳及び Access に反映させるとともに、公表用の資料を作成し、<u>県内出荷分の公表と合わせ公</u> <u>表する</u>。

なお、公表は毎週水曜日、木曜日、金曜日に実施され、<u>県内と畜に係る検査結果公表</u> がない曜日には、県外と畜に係る検査結果公表も実施しないこととなっている。

(各と畜場の検査を実施している検査機関は別紙1を参照)

2 処理手続き

(1)県外検査結果の受領、保存

メール及びファックス等で各検査機関より検査結果を受ける。

この際、検査結果を確認し、<u>検出されている場合は、すぐに担当ラインや上席に報</u> <u>告</u>する。

なお、メールで受信した検査結果は以下のフォルダに保存する。

フォルダ:肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→★★★★出荷調整★★★★

→県外出荷(当該年度)→■結果公表→当該検査機関フォルダ

→「当該年月フォルダ」

メールで受	受領した検査結果	の保存場所	
タを先に移動 > 肉畜 > 【肉用牛出荷支援DB】 >	★★★★★出荷調整★	★★★★★ > 県外出荷(R 2	年度) > ■結果公表
	更新日時	種類 サイン	X
📕 00プレス (R2)	2020/12/18 10:55	ファイル フォルダー	
📙 01日本食品検査(東京、横浜)	2020/12/15 20:25	ファイル フォルダー	
📙 02茨城県薬剤師会(水戸、筑西、水戸ミート)	2020/12/02 15:44	ファイル フォルダー	
📙 03日本海事検定協会(和光、神奈川、西宮)	202		
04岩手県薬剤師会(三戸)	▶202 当該と留場	のノオルダ内に自該	
📕 05仙台中央食肉卸売市場(仙台)	202 月フォル:	ダを作成し、保存!	
📙 06㈱いわちく(岩手)	2020/04/09 21:14	ファイル フォルダー	
07山梨県食肉流通センター(山梨)	2020/12/03 8:37	ファイル フォルダー	
📙 08_神戸中央畜産荷受㈱	2020/09/04 8:30	ファイル フォルダー	
🕅 と畜から検査、報告までの日数(通常)	2020/08/07 21:44	Microsoft Excel ワ	11 KB

(2)該当する Excel 県外出荷計画表を確認

Access の「県外出荷台帳の入力」より、当該と畜場(「と場」)及びその検査結果に 記載されていると畜日(「と畜日」)でソートをかけ、検査された個体が入力された Excel の県外出荷台帳を開く。

- ※ この際、<u>検査結果に記された個体識別番号と、Excel の県外出荷台帳に記された</u> 個体識別番号を照合し、間違いがないことを確認する。
- ※ <u>Excel に入力されたと畜日と、受けた検査結果に記載されたと畜日が異なる場合</u> があるため、家畜改良センターホームページの「牛の個体識別情報検索サービス」 にて出荷、と畜履歴を確認し、場合によってはと畜場に連絡の上、正しい処理日を 確認する。



出荷No	- と場別出荷ト	と場、	₩ 出荷ID →	送付日	- 搬入日 -	「日審ら」
153520	15941	cuita	くさいたま-15941	令和2年12月11日	令和2年12月13日	令却2年12月14日
153521	15942	さいたま	オーま-15942	令和2年12月11日	令和2年12月13日	和2年12月14日
153685	15943	さいたま	さし 15943	令和2年12月15日	令和2年12月17日	令和2年12月18日
153686	15944	さいたま	さいた 4	令和2年12月15日	令和2年12月17	令和2年12月18日
153687	15945	さいたま	さいたまー	如2年12月15日	令和2年12月	令和2年12月18日
153688	15946	さいたま	さいたま-159	12月15日	令和2年1	令和2年12月18日
153689	15947	さいたま	さいたま-15947	158	令和2 日	令和2年12月18日
153690	15948	さいたま	さいたま			和2年12月18日
153691	15949	さいたま	さいたま・	わらでワート	トなかけ 当該	和2年12月18日
153692	15950	さいたま	さいたま・	1000/		和2年12月18日
153693	15951	さいたま	さいたま・	- 李提乃バレ	<u> 客口を絞る</u> 」	和2年12月18日
153694	15952	さいたま	さいたま・	- 田物及して	田口で収る;	:和2年12月18日
153950	15950	さいたま	さいたま・	(▼た士/	לל בוול	和3年01月04日
153951	15951	さいたま	さいたま・	(▼で圧。	/) / //	和3年01月04日
153952	15952	さいたま	さいたま			6和3年01月04日
153953	15953	さいたま	さいたま-15953	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153954	15954	さいたま	さいたま-15954	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153955	15955	さいたま	さいたま-15955	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153956	15956	さいたま	さいたま-15956	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153957	15957	ざいたま	さいたま-15957	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153958	15958	ざいたま	さいたま-15958	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153959	15959	さいたま	さいたま-15959	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153960	15960	さいたま	さいたま-15960	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153961	15961	さいたま	さいたま-15961	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153962	15962	さいたま	さいたま-15962	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153963	15963	さいたま	さいたま-15963	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
153964	15964	さいたま	さいたま-15964	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
		さいたま	さいたま-15965	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
Acces	s画面 📃	さいたま	さいたま-15966	令和2年12月25日	令和3年01月03日	令和3年01月04日
		ざいたま	さいたま-15967	令和2年12月28日	令和3年01月03日	今和3年01月04日

(3) Excel 県外出荷表への検査結果の転記

Excel の県外出荷台帳の右方「検査結果記者発表」、「セシウム 134」、「セシウム 137」、 「公表値(セシウム 134+137)」に、公表年月日(=県内検査結果が公表される日と同 日)及び検査結果を転記する。

※ この際、記載方法はこれまでの記載方法を参考とする。

				検査結界	県の転記方法
					と畜場からの検査結果表【例】
			牛肉	肉放射性物	質検査業務報告書
	福島	_ 県知事 内] 堀雅雄 殿	r z	
					仙台中央食肉卸売市場㈱
	令乐	│ ∏2年4月1日	 付けで締結	清しました牛肉放身	対性物質検査業務委託契約に基づき。
	下記の	の検査品に	コールファース (加) コートファース (加)	村性物質検査(セン	/ウム134、セシウム137)の結果を報告します。
				53	
	1 検	査品名		牛肉(福島)	
	2 検	査依頼日(ど	_畜日)	令和2年10月8日(
	3 検	査機器		NaI(TI)シンチレー	ションスペクトロメータ
	4 検	渣方法		食品中の放射性	
	5 検	査結果			この検査結果を Excel 県外出
	No.	と畜番号	上場番号	個体識別番号	検査 1、検査結 1、検査結 <i>CEDEROIC</i> (場合)
					セシウム134,137の総動 ウム134,137の総量
	1	20	212	13364-82324	測定下限値未満(<25)
	2	21	213	14110-04281	測定下限値未満(<25)
				識別番号 🗾 🗉	荷無し= ▼ 検査結果記者発表 ▼ セシウム134 ▼ セシウム131 ▼ 公表値(セシウム184+137)▼ 備考 ▼
Exc	el 県	外出荷台	限		一 検査不要 検査不要 検査不要
雌去勢		37			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
去勢 去勢			に検査結	果を転記する	検査不要 検査不要
59	_				供宜不安
Free	山但め	山荷台峰	個体調	戦別番号 🗾 出荷	清無し= ▼ 検査結果記者発表 ▼ センウム18(▼ センウム18(▼ 公表値(センウム184+187)▼ 備帯者) 冷香不 冷香不.
	· / /		×		検査不 令和2年10月09日 検出せず(<25)
É 勢		37 32			令和2年10月09日 − − 検出せず(<25) − − 検出せず(<25) − − − 検査不 ○ □ ○ □ ○ □ □ □ □ □
<u>勢</u> 勢		33 33		転記!	────────────────────────────────────

(4) Access 県外出荷台帳への検査結果の転記

Excel 県外出荷計画表に転記した「検査結果記者発表」、「セシウム 134」、「セシウム 137」、「公表値(セシウム 134+137)」のセルを選択、コピーし、Access の県外出荷台 帳の当該場所に貼り付ける。

この際、Accessの県外出荷台帳の当該箇所のみ選択し、右クリック「貼り付け」に て貼り付ける。



Access の「管理メニュー」→「公表資料(県外)」→「放射性物質検査結果(公表)の印刷」をクリック。



(6) 公表用資料の印刷プレビュー表示

当該情報を入力し、「クエリの実行」をクリックする。下部に結果が表示されるため、 その内容に間違いが無ければ右方の をクリックする。



(7)公表用資料の PDF 表示

別ページにて、県外出荷に係る結果公表資料の印刷プレビューが表示されるため、間違いが無ければページ上部の「PDF または XPS」をクリックする。



(8) 公表用 PDF 資料の保存

保存場所を指定するよう指示されるため、以下のフォルダに保存する。
フォルダ:肉畜→【肉用牛出荷支援DB】→★★★★★出荷調整★★★★★
→県外出荷(当該年度)→■結果公表→00プレス(当該年度)
→当該月→当該月日(公表日の日付にて作成)
データ名:(公表年月日)県外と畜分の検査結果(公表)
【例】2020年4月1日公表分の資料の場合→「200401県外と畜分の検査結果(公表))



(9) 公表用資料の印刷

(8)による保存後、片面で出力する。

(10) ダブルチェックの実施

と畜場毎に「と畜日」及び「検査頭数」を記載したメモを作成し、検査機関から受けた検査結果の原本及び公表資料について、ラインの職員にダブルチェックを依頼する。

※ 受けていた県外出荷計画表に記載されたと畜日と、実際のと畜日が異なること があるため、メモを渡すことでダブルチェックの体制としている。

(11) 検査結果原本の保存

公表終了後、検査機関から受けた検査結果の原本は、と畜場毎の「検査結果」の簿 冊にとじる。

マニュアル3

県外出荷計画書作成に係る事務処理について

1 状況

(1) 概要

別紙のとおり、当県から県外のと畜場へ牛を出荷しており、<u>と畜場への牛の搬</u> 入に先立ち、当課から各と畜場及び関係機関(管轄市町村や検査機関等)に「県 <u>外出荷計画表」を送付</u>している。

福島県としては、県外出荷計画表の送付を以て、「県として確認した牛=と畜 OK」 であることの証明としている。

そのため、当課から県外出荷計画表の送付されていない(=県として確認がされていない) 牛については、<u>と畜場でのと畜ができない</u>こととなり、各と畜場の と畜作業が一時ストップしてしまう。

(2) 牛肉の放射性物質検査(以下、「検査」という。)方法

令和2年度4月以降、牛肉の検査方法については以下ア及びイのとおり。

なお、と畜場によっては、「同じ運搬車に1頭でも検査が必要な牛が含まれる 場合、作業の煩雑化防止のため、積まれた牛すべてを検査したい」と要望すると 畜場もあるため、判別に注意すること(山梨や仙台)。

ア 肥育牛: 全戸検査(全農家、1年間に1頭以上の検査)(肥育素牛の緊急と畜もこれに該当)

イ 廃用牛等:全頭検査

2 処理手続き

(0)前提

出荷者は県外出荷がある場合、<u>出荷の3営業日前を目安</u>として福島県畜産課に 県外出荷計画表を送付する。

出荷者から県外出荷計画表を受けた福島県畜産課は、以下(1)以降の処理を 実施し、県外の関係機関に県外出荷計画表を送付する。

※ 病畜等の都合により、検査が必要な牛が含まれる当日出荷・と畜の県外出荷 計画表を当日に受けた場合については、出荷先のと畜場及び検査機関に対して、 検査が必要な牛が搬入される旨を電話で早急に伝達すること【別紙1参照】。 (1) 出荷計画表の受領

メール及びファックス等で、各出荷団体より県外出荷計画表を受領する。

- ※ メールにて受領した県外出荷計画表については、出荷団体ごとに以下のフォ ルダへ保存する。
 - フォルダ: 畜産←必要なデータを先に移動→肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】 →★★★★★出荷調整★★★★★→県外出荷(該当年度)

→99_受けた県外出荷計画表

	~ Ŭ ★★★	****	> ★★★★★★出荷調整,) > 肉畜 >【肉用牛出荷支援DB】	を先に移動 >
	サイズ	種類	更新日時	^	名前
		ファイル フォルダー	2020/04/17 16:29	県】委託契約(案)	- 【福島県】
		ファイル フォルダー	2019/10/08 9:45		📕 共通
		ファイル フォルダー	2019/10/08 9:39	出荷(26年度)	📕 県外出荷
	\	ファイル フォルダー	2019/10/08 9:45	出荷(27年度)	📕 県外出荷
該当年度の		ファイル フォルダー	2019/10/08 10:38	出荷(28年度)	📕 県外出荷
フォルダを選択		ファイル フォルダー	2019/10/08 10:45	出荷(29年度)	▋ 県外出荷
	í	ファイル フォルダー	2019/10/08 10:25	出荷(30年度)	▶ 県外出荷
		ファイル フォルダー	2020/02/17 15:51		▲ 県外出荷
	_				
	-				
ファイル フォルダー	/12/09 10:51	2020/] 16_山形	[
ファイル フォルダー ファイル フォルダー	/12/09 10:51 /11/27 18:46	2020,	.)	 16_山形 17_神戸西部(兵庫) 	
ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	/12/09 10:51 /11/27 18:46 /12/04 18:39	2020, 2020, 2020,	.)	 ▶ 16_山形 ▶ 17_神戸西部(兵庫) ▶ 18_山梨 	
ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	/12/09 10:51 /11/27 18:46 /12/04 18:39 /12/04 18:15	2020/ 2020/ 2020/ 2020/ 2020/	.)	 16_山形 17_神戸西部(兵庫) 18_山梨 19_岩手(いわちく) 	
ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	212/09 10:51 211/27 18:46 212/04 18:39 212/04 18:15 203/18 10:10	2020, 2020, 2020, 2020, 2020, 3) 2020,	.) 主物質検査確認書	 16_山形 17_神戸西部(兵庫) 18_山梨 19_岩手(いわちく) 98_FAX送り状(放射) 	

(2) 生産者情報の記入

受けた県外出荷計画表内に記載されている生産者の「<u>最終検査日</u>(Access の 「管理メニュー」→「個人データ(全戸検査済確認書印刷(個別))」の「全戸調査 日」)」及び「<u>最新立入日</u>(前述と同様箇所の「立入調査」の直近のもの)」を確認 し、受けた県外出荷計画表に記入しておく(後のダブルチェック時に確認するた め)。

- ※ この段階で、「(肥育牛のみ)最終検査日」がと畜予定日から起算した直近1 年以内に検査が行われていない場合、検査が必要となる。
- ※ 「最終立入日」がと畜日から起算した直近1年以内でない場合、管轄農林等 に飼養状況確認調査(=立入調査)の実施を依頼する。
- ※ 震災以降に初出荷の場合等については、血液検査を実施の上、まず県内(福 島県食肉流通センター)に出荷し、検査を受ける必要があるため注意する。



(3) Excel 県外出荷台帳への転記

受けた県外出荷計画表の内容を、「Excel 県外出荷台帳」へ転記する。 なお、Excel 県外出荷台帳は各年度・月ごとにフォルダ分けしているため、各

フォルダ内に作成し、タイトルはその台帳を作成した日とする。

(令和2年4月1日に台帳を作成した場合

→【020401_出荷台帳入力フォーム【県外_Ver5】】) 県外出荷台帳は、「<u>これまでの出荷の通し番号</u>(Excel 県外出荷台帳の「出荷 No.」)」及び「<u>と畜場ごとの通し番号</u>(Excel 県外出荷台帳の「と畜場別 No.」)」 の転記が必要であるため、Access の「県外出荷(と畜)」の「県外出荷台帳の入 力」からこれらを確認し、Excel 県外出荷台帳へ転記する。

と畜場ごとの通し番号については、Access でと畜場ごとにソートをかけ、始まりの番号を確認する。

※ 県外出荷台帳原本:肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→県外出荷台帳

→(新様式(R1.10.23~))180000_出荷台帳入力フォー



ム【県外_Ver5】

	ŕ	各通し番号の	確認方法	
F クリッフ 「ヨ F 管理メニュー	がード - F 県タ	□ ► Acce	ss 画面「県外出花	苛台帳の入力」
 二荷No 15325 	 と場別出花 8079 8080 8081 8082 8083 8084 8085 8086 	▶ ● し 一 と 場 ・ し 台 七 七 台 七 七 台 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七 七	 → 出荷D 仙台-8079 仙台-8080 仙台-8081 仙台-8082 仙台-8083 仙台-8084 仙台-8085 仙台-8086 	 ▼ 送付日 令和2年12月07日 令和2年12月08日 令和2年12月08日 令和2年12月08日 令和2年12月08日 令和2年12月08日 令和2年12月08日 令和2年12月08日 令和2年12月08日
1522E これまでの 通し番号	と畜 通	↓ 場ごとの し番号	(山本 <u>_0007</u>	

「すべての通し番号」及び「と畜場ごとの通し番号」を確認したら、必要事項 を Excel 県外出荷台帳へ転記する。

なお、この段階で転記する事項は Excel 県外出荷台帳の「出荷 No.」~「個体 識別番号」までで良い。

紫色に着色されたセルは自動入力であるため、打ち込みは不要。エラーが出た 場合は農家名や市町村名に誤りがあるため、確認をする。





(4) 出荷対象牛の履歴等の確認

作成した Excel 県外出荷台帳から個体識別番号をコピーし、家畜改良センター ホームページでの「牛の個体識別情報検索サービス」にペーストし、その牛の履 歴を確認し、受領した県外出荷計画表に<u>直近の移動履歴を転記</u>しておく。

※ 当該生産者に移動してきて日が浅い(前飼養者へ立入調査が実施されていない場合)等については、<u>飼い直しが不足しているため、出荷の引き延ばしを要</u> <u>請</u>する。





なお、県外出荷の可否は以下のより判断する(出荷予定者が適正な飼養状況で ある場合に限る)。

- ① 出荷予定者へ移動してきてから6ヶ月が経過していない場合
 - 移動元が岩手県、宮城県、福島県、栃木県以外である場合は、県外出荷・ と畜を可能とする。
 - 移動元が岩手県、宮城県、福島県、栃木県である場合は、前飼養者が適 正な飼養管理であることが確認されている場合に限り、県外出荷・と畜を 可能とする。
 - 福島県内の成牛セリを経由している場合、出荷予定者へ移動してから3 ヶ月が経過していれば、県外出荷・と畜が可能とする。
- ② 出荷予定者へ移動してきてから<u>6ヶ月が経過している</u>場合
 - 出荷可能とする。

(5) Access 県外出荷台帳への転記

牛の移動履歴の確認が完了後、Excel 県外出荷台帳の「出荷 No.」から「個体 識別番号」までをコピーし、Access の「県外出荷(と畜)」の「県外出荷台帳の入 力」の最左下「*」を右クリックし、ペーストする。

※ この際、エラー等でコピーができない場合、「これまでの出荷の通し番号 (Excel 県外出荷台帳の「出荷 No.」)」等に誤りがあるおそれがあるため、再確 認する。



	F_県外出荷	治帳(入力フォー)	ム) \ 🔳 F_農家デ	ータ(確認書フォーム)		
	昜別出荷ト→t	と場 🚽	出荷ID 🚽	送付日	- 搬入日	-
153279	91326	芝浦	芝浦91326	令和2年12月09日	令和2年12月09日	令
153280	1843	和光	和光-1843	令和2年12月09日	令和2年12月09日	令行
153281	1844	和光	和光1844	令和2年12月09日	令和2年12月09日	
153282	1845	和光	和光1845	令和2年12月09日	令和2年12月09日	
153283	1846	和光	和光1846	令和2年12月09日	令和2年12月09日	令
153284	1847	和光	和光1847	令和2年12月09日	令和2年12月09日	令
 153285	1848	和光	和光1848	令和2年12月09日	令和2年12月09日	令
*						
1532 5						

ココを右クリック、貼り付け!

(6) Access 出荷台帳への入力事項の入力及び出力

Access の「管理メニュー」→「県外出荷計画表の印刷」により、必要事項を記載し、「クエリの実行」をクリック。

同ページ下部に当該情報が出力されるため、誤りが無ければ同ページの「Excel 出力」をクリック。



(7) 検査の「要」「不要」の判断

新しい県外出荷計画表には、「検査の要・不要」の欄が設定されている。

1の(2)の記載のとおり、牛の種類ごとに検査実施の有無が異なるため、<u>以</u> 下の場合により検査の要・不要欄に記載する。

- ★「不要」の場合:当該牛が当初より肥育牛として飼養されてきた牛であり、その飼養農家が飼養する肥育牛がと畜日から起算して1年以内に検査がなされている場合(経産肥育牛は含まない。当所より肥育目的に飼われた牛のみ)
- ★「要」の場合:「不要」の場合以外の場合、または肥育牛かどうかの判別が困難 な場合

ų.	苏王宁书								新し	い出	词句計	凹衣
Ē	何ア 正 石 農家名・集出:	荷団体名						_				
	担当者	名						◎福島	表畜産課担当者	石川 雄治		
	電話番	号						連絡先:024-521-7365(畜産課直通)				
	Fax番·	号								:090-43	15-1710(緊急	急時連絡先)
: ш Г	荷先と畜場			電話番	号]				
L	- 田 1月 1日			Fax番	号]				
出	荷計画						※「直近の飼養状況 ※「抽出検査日(肥)	R確認日」から1: キロのかりから	年以内の場合、 1年以内の場合	出荷が可能で 、放射性物質	です。 【 _東 査は不要で、	•
N	 と畜場搬入 年月日 	と畜予定 年月日	出荷団体名	農家名 (生産者名)	農家市町村	個体識別番号	検査対象牛 検査非対象牛の別	抽出検査日 (肥育牛のみ)	直近の飼養 状況確認日	畜種	検査の 要・不要	備考
1	1						検査対象牛	M33.1.0	M33.1.0			
2	2						検査対象牛	M33.1.0	M33.1.0			
3	3						検査対象牛	M33.1.0	M33.1.0			
4	4						検査対象牛	M33.1.0	M33.1.0			
/							\square	_				
(÷+	各开	の枠本・	い心面マ	5 t Z I	_⊫	/	(
	XJ	豕十	い快宜7	いい安(ະພວາ	ふ ノ				の笛	所にね	金杏の
					\				<u> </u>	~~ 回	111-1	ㅈ묘·/

(8)県外出荷計画表の保存

新しい県外出荷計画表への入力が完了後、以下のフォルダに保存する。

この際、<u>各と畜場、月、県外出荷計画表作成日ごとにフォルダを作成</u>し、保存 する。

- ★ 保存場所: 肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→★★★★★出荷調整★★★★★
 →県外出荷(当該年度)
 - →該当と畜場の各フォルダ
 - →当該月のフォルダ →当該日のフォルダ
- ※ 県外出荷計画表のタイトルは、
 - 「【福島→(出荷先と畜場)】(牛の搬入日)(出荷団体名)((生産者名))」と する。
- ※ 出荷先が東京食肉市場㈱(芝浦)で、搬入日が令和2年4月1日、出荷先出 荷団体「全農福島県本部」、生産者「佐藤邦明」で作成した場合
 - → 【福島→芝浦】0401 全農福島県本部(佐藤邦明)



(9) ダブルチェックの実施

県外出荷計画表を印刷し、転記内容について肉畜担当でダブルチェックを実施 する。

ダブルチェック時に留意することは、以下のとおり。
★ 「最新立入調査日が適切か」
→ そもそも県外出荷が可能な生産者か。
★ 「検査の要不要は適切か」
→ 当該牛の生年月日や履歴から判断できるものか。
曖昧なものは生産者等に直接確認をしているか。
★ 「個体識別番号は間違い無いか」
→ 誤って別の牛がと畜されることとならないか。
等

<u>施されなかった」、「本当は異なる牛がと畜されていた」</u>等、様々な問題が発生し うることから、厳密に実施すること。

(10) 出荷計画表の送付

各と畜場ごとに出荷計画表を送付する。なお、<u>その送付方法は送付先により異</u> なる(メール及びファックス)ため、別紙を参照し、送付する。

ファックス送り状については、以下のフォルダに保存されている。

フォルダ: 肉畜→【肉用牛出荷支援 DB】→★★★★★出荷調整★★★★ →県外出荷(当該年度)→各と畜場ごとのフォルダ

肉用牛出荷支援DB】> ★★★★★出荷調整★★★★★ > 県外出荷(R2年度) > 01_▲東京(芝浦)			
名前	更新日時	種類	サイズ
🣜 令和 2 年 4 月	2020/04/30 16:57	ファイル フォルダー	
📕 令和 2 年 5 月	2020/05/29 15:03	ファイル フォルダー	
📕 令和 2 年 6 月	2020/06/30 15:40	ファイル フォルダー	
📕 令和2年7月	2020/07/30 20:08	ファイル フォルダー	
📕 令和2年8月	2020/08/31 9:44	ファイル フォルダー	
📕 令和 2 年 9 月	2020/09/30 13:37	ファイル フォルダー	
📕 令和2年10月	2020/10/30 17:46	ファイル フォルダー	
📕 令和2年11月	2020/11/30 16:36	ファイル フォルダー	
📕 令和2年12月	2020/12/09 9:40	ファイル フォルダー	
書 (検査「不要」版) F A X 送信票	2020/12/08 9:11	<u>一太郎 文</u> 書 バック	188 KB
書 (検査「不要」版) F A X 送信票	ファックス送付	≡ ■	189 KB
書 (検査「要」版) F A X 送信票		書 バック	188 KB
📑 (検査「要」版)FAX送信票 ノ	2020/11/25 18:29	一太郎 文書	188 KB
📄 ※ 検査が必要な場合は、JJにTEL!	2020/03/31 23:00	テキスト ドキュメント	1 KB

(11)県外出荷計画表の簿冊への保存

印刷及び送信済みの県外出荷計画表は、各簿冊(タイトル「県外出荷計画」)に保存する。